



日本国内で触れる、英国の風

2026年1月5日～7日 高校1.2年希望者

★ 雪の降るBritish Hillsへ

冬期休暇終了も目前に迫る1月5日。参加生徒は学校に集合し、バスで本校を出発しました。高校1年生13名、2年生20名、総勢33名での語学研修の幕開けです。期待が高まる中、途中の上河内SAで昼食をとります。その後高速道路を降りて現地が近づくと、バスから見える景色は一変。雪の降る長い坂道を力強く登っていきます。見慣れない雪景色に車内からは詠嘆の声が上がっていました。



British Hillsに到着し、これから3日間を過ごすマナーハウスへと足を踏み入れます。すっかり異国の外観や内観に生徒たちは目を輝かせ、興味津々です。



マナーハウス2階で集合写真▶

★ 動いて話して楽しくLesson



今回の研修では全6回のネイティブ講師によるLessonが行われました。1クラスの人数は約16人、各回1時間30分と、普段の学校で受ける授業とはまた一味違います。

初回のLessonでは初対面の生徒同士が多いこともあり、緊張気味でした。しかし、すみやかに使ったり、踊るなどLesson内の活動を通して、終始笑顔のままお互いに英語でコミュニケーションをとることができました。

▲ 理想の遊園地をみんなで議論

空港や海外の飲食店で使う実用的な英語を学んだり、日本の文化を英語で説明するLessonなど。「“正座”って英語でなんて言うんだろう…？」など、改めて得る気付きも多かったようです。

中でも生徒たちに大人気だったのは、ショートブレッドを作るLesson。英語のレシピをもとに先生のアドバイスを聞きながら、初のショートブレッド作りを手探りで進めていきます。どのような出来上がりになるのか、ドキドキと生地をオープンに入れてしばらくすると、辺りには良い匂いが。完成したものをみんなで食べ、最後の片付けまで協力することができました。

生地は指と同じくらいの太さに…



生地が上手くまとまらないハピングもありましたが、▲美味しく食べることができました

★ いよいよCheck in

ネイティブ講師の先生方から、British Hillsの建物やルールについて説明を受けます。そして宿泊に必要な自分の情報を用紙に記入し、鍵を受け取る…もちろんすべてが英語です。生徒たちは、英語で話すことにまだ若干のためらいや緊張がありながらも、自分の英語が通じることの嬉しさを実感していました。

まるで本当に海外に来たような感覚を胸に、意気軒高として英語漬けの3日間へと身を投げます。



英語で宿泊部屋の鍵を受け取ります▶

★ 休憩時間は…

木の造りが温かいDining Hallや、ドレスコードのあるRefectoryで食事をとります。ウェイターさんに料理の感想を英語で伝えるなど、積極的に新しいことにチャレンジしていました。

Dining Hallでの食事▶



夕食の後には自由時間があります。事前に配られたワークシートには2種類のアクティビティが用意されており、この自由時間を使って楽しく取り組んでいました。



施設内では他にも、フロントで予約をしてGymで身体を動かしたり、Shopでお土産を買うことができます。Lessonで学んだ英語を実践する機会でもあり、このような環境の中で、伸び伸びと英語力を身につけることができました。

3日間の研修を通して

生徒の声

日本なのにオールイングリッシュの授業を体験できて楽しかった。外に出れば一面の雪景色で遊べたり、とにかくご飯が最高だった。放課後は個人でフィールドワークをして、もらった2枚の紙を外に持ち出し探検して謎を解いたりわからないことはすぐフロントに聞いて教えてもらった。ブリティッシュビルズのクリアファイルがもらえて取り組んだ甲斐があった。